

G マーク表彰提出書類作成の手引き

◆九州運局長表彰

	注意事項
サイズ	以下の書類は全てA4縦で統一する。表彰状などもA4に縮小。 A3、B4などを織り込んでA4サイズにするのは不可
基準日	表彰年度の4月1日
宣誓書	宣誓書の記入者は事業者代表（社長）または事業計画に関する権限受任者。 使用する印鑑は実印、角印、社印など。
ファイル	提出書類は紙ファイルなどに必ず綴じて、表紙に事業者名及び営業所名を必ず記載する。
虚偽の記載	虚偽の記載があれば「取消し」となり公表され、以降の取扱いも不適切（対象外）となる。

	内容と提出書類	添付
表紙	A) 九州運輸局長表彰関係書類 送付書	別紙1
鑑	B) 表彰に係るチェックシート局長用	第2号様式
条件1 (表彰)	以前Gマーク表彰の支局長表彰を受賞していること (昨年度支局長受賞で今年度局長でも可)	添付書類なし
条件2 (認定)	C) Gマークを10年以上連続で認定されている。	直近の認定証の写
条件3 (評価)	D) 直近の評価点数の総合評価が90点以上 or 安全性の取り組みの積極性が15点以上	協会作成 第3号様式
条件4 (事故)	E) 表彰の直前3年間に九州運輸局管内で第1当事者（と推定される）としての事故がない。（九州内の他の営業所の事故も含む）	第4号様式
条件5 (処分)	表彰の直前の1年間に九州運輸局管内で行政処分を受けていない（九州内の他の営業所の処分も含む）	添付書類なし
条件6 (教育)	定期的な運転者教育を実施している	
	F) 運転者の教育に係る説明書（宣誓書）	第5号様式
	G) 年間計画表	第6号様式
	次のいずれか？（事業者の様式でも可） H) 運転者教育台帳＋（教育に使用した資料の添付） I) 運転者教育記録＋（教育に使用した資料の添付）	第7号様式 第8号様式
条件7 安マネ ISO	次のいずれか J) ISO9000 シリーズ又はISO39000 シリーズ	登録証又は認定証
	K) 運輸安全マネジメント実施の説明書	第9号様式
条件8 ドラレコ デジタコ	当該事業者の配置車両全車（100%）にデジタコ又はドラレコが装着されている。 L) 装着されている旨の宣誓書	第10号様式
条件9 荷主 経営	次のいずれか M) 荷主からの推薦状・表彰状をもらっている	賞状等の写
	N) 経営が安定的に行われていることに関する宣誓書	第11号様式
条件10 表彰	O) 行政トラック協会等から輸送の安全に関する表彰を受けている （Gマーク支局長表彰は対象外）	賞状等の写 第13号様式

提出書類別注意事項

表紙	A) 九州運輸局長表彰関係書類 送付書	別紙 1	必須
----	---------------------	------	----

- ①：申請事業所に関する必要事項の記入と添付した書類の有無のチェックだけなので特記事項なし。
 ②：各書類の準備が整ってから記載してください。

鑑	B) 表彰に係るチェックシート局長用	第 2 号様式	必須
---	--------------------	---------	----

- ①：全項目について必ず「yes」or「No」のどちらかにチェックを入れる。
 ②：3 - (2) a~g はどれか 1 つ以上に「yes」が必要。「No」があっても構わない
 ③：(7) は a~d のいずれかの「yes」が必要。「No」があっても構わない。
 ④：原則上記②、③及び 5 - 1、5 - 2 の項目以外に「No」が付く場合は必要書類が足りないことになるので注意してください。

条件 1 (表彰)	以前支局長表彰を受賞していること (昨年支局長受賞で今年度局長でも可)		不要
--------------	--	--	----

- ①：支局長表彰を受賞しているか、いないかの話。事務局で作成し運輸支局に提出するので、事業所側で作成する提出書類もありません。

条件 2 (認定)	C) Gマークを 10 年以上連続で認定されている。	直近の認定証の写	必須
--------------	----------------------------	----------	----

- ①：認定書のコピーを付けてもらう。モノクロ・カラーは問いません。
 ②：認定書の名称と今回申請する名称が違う場合は全ト協への届出がなされていない可能性が高いので事務局にお問合せください。

条件 3 (評価)	D) 直近の評価点数の総合評価が 90 点以上 or 安全性の取り組みの積極性が 15 点以上	協会作成 第 3 号様式	不要
--------------	---	-----------------	----

- ①：今回の案内はこの「条件 3」をクリアしている事業所に送付しておりますが、認定時に全ト協から認定書と合わせ「評価点数一覧表」という書類が送付されていると思いますので、その書類で点数を確認ください。
 ②：この項目は協会で作成し、支局に申請書と合わせて提出しますので提出する書類はありません。

条件 4 (事故)	E) 表彰の直前 3 年間に九州運輸局管内で第 1 当事者（と推定される）としての事故がない。（九州内の他の営業所の事故も含む）	第 4 号様式	必須
--------------	--	---------	----

- ①：この項目でいう「事故」は事故報告書の提出が必要な重大事故のことです。
 ②：基準日は表彰式日の直前 3 年間となっている。現時点で表彰日は決まっていないが規定上 10 月とあるため 3 年前の 11 月（平成 27 年）からことしの 10 月までの事故が審査の対象となる。このため 5 月の上申後、10 月までに事故が起こると表彰を受けることはできません。
 ③：また、局長表彰は九州内の他の営業所が起こした事故も対象となるため、当該営業所が良くても九州内の他の営業所で事故がありますと表彰されないこととなります。
 ④：事故が無いことが確認できれば下記の無事故である宣言書（第 4 号様式）を作成する。上記①、②の確認をせず申請することも可能ですが、後日発覚した時点で審査は中止されます。

(第4号様式)

無事故である旨の宣誓書

弊社は、平成〇〇年11月～平成〇〇年10月までの3年間について、九州運輸局管内の事業所において、自動車事故報告規則（昭和26年運輸省令第104号）第2条に規定する事故であって、表彰の基準の規定に該当する事故について、第1当事者又は第1当事者と推定される重大な事故を惹起していないことを報告します。

なお、申請期間より表彰日の間に、上記の重大事故を発生させた場合は、表彰を辞退させていただきます。

上記について、宣誓いたします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

九州運輸局長 殿

株式会社 〇〇運送
社長 〇〇 〇〇 印

注意！
過失の有無、有責割合に関する取り扱い

取り扱い規定により第一当事者となる事故（または第一当事者と推定される事故）は抵触する・・となっておりまして、結論が出ていない複雑な事故の場合は運輸支局で判断されることとなります。

重大事故は

- ① 転覆、転落、火災、鉄道車両との衝突（接触）
- ② 10台以上の自動車の衝突
- ③ 死者又は重傷者
- ④ 10人以上の負傷者
- ⑤ 積載物の飛散（漏えい）（第2条5号のイ～トに規定する積載物）
- ⑥ 積載コンテナの落下
- ⑧ 酒気帯び、無免許、無資格、麻薬等運転
- ⑩ 救護義務違反
- ⑫ 車輪の脱落、被けん引自動車の分離（故障による）
- ⑬ 鉄道施設（橋脚、架線、起動施設等）を損傷し、3時間以上本線において鉄道車両の運転を休止させた。
- ⑭ 高速自動車道、自動車専用道路において3時間以上自動車の通行を禁止させた。

不要

条件5 (処分)	表彰の直前の1年間に九州運輸局管内で行政処分を受けていない (九州内の他の営業所の処分も含む)	添付書類なし
-------------	--	--------

- ①：行政処分についても事故同様前年（平成29年）11月から今年10月まで行政処分を受けているかがこの項目の対象となります。上申後10月までの間行政処分を受けると表彰を受けることができません。
- ②：また、条件4（事故）とは違い宣誓書のなどの書類提出は必要はありません。局長表彰の場合は九州管内すべての営業所が対象となるので注意が必要です。

条件6 (教育)	定期的な運転者教育を実施している		
	F) 運転者の教育に係る説明書(宣誓書)	第5号様式	必須
	G) 年間計画表(事業者の様式でも可)	第6号様式	
	次のいずれか?(事業者の様式でも可)		
	H) 運転者教育台帳 + (教育に使用した資料の添付)	第7号様式	いずれか
	I) 運転者教育記録 + (教育に使用した資料の添付)	第8号様式	

①: 教育資料は上記 F) + G) + <H) or I)> の3種類の資料の提出が必要となります。

②: 教育については事業所全員の教育の記録が必要ですが、Gマーク申請時のように名簿や運転者台帳の提出の必要はありません。

③: ドライバー教育は次のいずれかの資料を提出する必要があります。

- a) 事故防止会議
- b) 安全衛生会議(交通事故防止に係るものに限る)
- c) グループによる危険予知訓練又はヒヤリ・ハット活動
- d) 交通事故防止に係るQC活動
- e) 小グループによる安全活動
- f) 交通事故防止等輸送の安全性確保に関する会議又は活動
- g) 上記以外のもので同様の内容の教育

③: 前年度の年間計画表に合わせた1年間の教育記録の提出が必要となります。

④: 通常は前年度の4月~3月の1年分となりますが、事業所によっては事業年度に合わせ年間計画表や1月スタートの年間計画表もあると思いますので、年間計画に合わせた前年度の資料を提出してください。

<例> 3月決算の会社で年間計画4月はからスタート→H29年4月~H30年3月の記録。

1月2月決算の会社で年間計画は1月からスタート→H29年1月~H29年12月の記録。

6月決算の会社で年間計画は7月からスタート→H28年7月~H29年6月の記録。

④: 運転者全員に対して、定期的な教育が実施されていることが確認できれば運転者教育台帳(第7号様式)、運転者教育記録(第8号様式)のいずれかの提出でも構いません。

⑤: 添付する教育記録は「最低2か月に1回」の計6回以上が必要です。

F) 運転者教育に係る説明書(宣誓書) = 第5号様式

①: 下記の教育を実施している旨の宣誓書(第5号様式)の作成が必要です。

○運転者教育の実施に関する説明書(第5号様式)

(九州運輸局長表彰用)

(第5号様式)

運転者教育の実施について

私ども(株)○○運送○○事業所は、平成○○年度の1年間に、別添の資料のとおり○○や○○などの運転者教育を、年間計画表やカリキュラムに基づいて所属運転者全員に対して実施しましたので、報告いたします。

平成○○年○○月○○日

九州運輸局長 殿

株式会社 ○○運送
社長 ○○ ○○ 印

②：この文中にある別添の資料とは、年間計画表（第6号様式）、運転者教育台帳（第7号様式）、運転者教育記録（第8号様式）、及びこの教育に使用したマニュアルやテキストなど関連資料を指します。

G) 年間計画表＝第6号様式

- ①：下表の参考例のような教育の年間計画表が必要。ただし、事業者がすでに作成しているものがあれば、それを代用して構いません。
- ②：独自の様式ではなく、この様式を使用する場合、告示項目の欄には12項目の告示項目による教育項目を記載してください。
- ③：参考例は4月スタートの計画表ですが、事業者の事業年度の起算月からの1年分でもよい。
- ④：少なくとも2か月に1回は実施する計画でなければ、計画的な教育計画とは見なされません。
- ⑤：定期的な運転者教育の内容とは交通事故防止会議、安全衛生会議（交通事故防止の内容が含まれるもの）、グループによる危険予知訓練、ヒヤリ・ハット活動、交通事故防止に関する品質管理活動、小グループ安全活動、交通事故防止等輸送の安全確保に関する会議・活動などとなります。

○年間計画表（第6号様式）

（九州運輸局長表彰用）

（第6号様式）

年間計画表（○○年度）			
月	① 告示項目	② 告示項目以外	備 考
4月	・ 全体会議（昨年の結果検証と今年度の計画の策定） ・ 事故防止会議		
5月			
6月		・ 事故防止会議	
7月			
8月		・ 危険予知訓練	
9月			
10月	・ 事故防止会議		
11月			
12月		・ 事故防止会議	
1月			
2月		・ ヒヤリ・ハット活動	
3月			

株式会社 ○○運送○○事業所 印

H) 運転者教育台帳＝第7号様式、I) 運転者教育記録＝第8号様式

- ①：下表の参考例のような教育の記録が必要です。ただし、事業者がすでに作成しているものがあれば、それを代用して構いません。また、下表の様式は便宜上縮めています、A4サイズでの提出が必要です。
- ②：運転者全員に対して、定期的な教育が実施されていることが確認できれば運転者教育台帳（第7号様式）、運転者教育記録（第8号様式）のいずれかの提出でも構いません。
- ③：運転者全員を確認する資料は不要であるが、教育台帳で提出する場合は全員分の台帳が必要。
- ④：教育記録は2か月に1回以上の記録の提出が必要。
- ⑤：教育台帳、教育記録共に教育に使用したマニュアルやテキストなど関連資料の添付が必要。
- ⑥：提出書類は直前年度1年分、事業者の事業年度の起算月からの1年分でもよい。

○運転者教育台帳（第7号様式）

(第7号様式)

株式会社 ○○運送○○事業所 印

運転者教育台帳

氏名	○○○○	生年月日	○年○月○日
雇入年月日	○年○月○日	選任年月日	○年○月○日
実施年月日	時間	場所	指導教育内容
○.○.○	9:00～12:00	事務所	・○○○の事故防止
○.○.○	18:00 ～19:00	事務所 会議室	・▽▽▽講習
○.○.○	9:00～12:00	事務所	・ヒヤリハット
○.○.○	9:00～12:00	事務所 会議室	・×××と○○○ ・適性診断結果に基づく指導
実施者			
所長、教育係長			
所長、教育係長			
所長、教育係長			
所長、教育係長			

○運転者教育記録（第8号様式）

(第8号様式)

運転者教育記録

	指導主任者	補助者	実施年月日	○年○月○日
検印	印	印	時間	自9:00 至12時00分
			場所	○○事務所 会議室
			実施者	所長 ○○○○ 印

指導教育の内容	1. 道路交通法 2. 運輸規則 3. 生活指導及び健康管理		
運転者氏名	氏名	氏名	記事
	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	

条件7 アマネ ISO	次のいずれか J) ISO9000 シリーズ又は ISO39000 シリーズ K) 運輸安全マネジメント実施の説明書	登録証又は認定証 第9号様式	いずれか
-------------------	--	-------------------	------

- ①：チェックシートに「国の基準以上の教育」という文言については、具体的な明示がなく、添付資料を見て行政が判断する。提出書類はチェックを入れた a) ~ d) のいずれか。
- ②：なお、グリーン認証は ISO シリーズと同等とは認められませんので×。また、9000 及び 39000 以外の ISO シリーズ及び P (プライバシー) マークは輸送とは関係がないので×

J) ISO9000 シリーズ又は ISO39000 シリーズ

- ①：ISO の認定証の写と当該営業所が認定範囲に含まれることが判別可能な資料 (付属書の写等) を添付する必要がある。
- ②：上記②の除外シリーズに注意してください。

K) 運輸安全マネジメント実施の説明書=第9号様式

- ①：表彰が行われる年の4月1日の取り組み状況がわかる資料を添付してください。
- ②：特に項目4 (公表) はHP公表の場合、Web ページを印刷したもの、事業所公表の場合は掲出状況がわかる写真、機関紙や広報誌での広報は該当印刷物 (写) を添付してください。

(九州運輸局長表彰用)

(第9号様式)

運輸安全マネジメントの実施について

弊社は、平成〇〇年4月1日現在、下記のとおり運輸安全マネジメントを実施しています。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針の策定について
弊社の基本方針は、「〇〇〇〇」であり、別添資料のとおりです。
2. 輸送の安全に関する目標の設定について
弊社の目標は、
〇〇〇〇〇〇であり、
別添資料のとおりです。
3. 輸送の安全に関する計画の作成について
弊社の計画は、別添のとおりです。
4. 運輸安全マネジメントの取り組みの公表について
弊社は、策定した運輸安全マネジメントの内容を、別添のとおり〇〇にて公開 (HP、事務所掲示等) しています。

以上、報告します。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

九州運輸局長 殿

株式会社 〇〇運送
社長 〇〇 〇〇 印

条件8 ドラレコ デジタコ	当該事業者の配置車両全車にデジタコ又はドラレコが装着されている。	第10号様式	必須
	L) 装着されている旨の宣誓書		

- ①：基準日（4月1日）時点の装着状況または、記載日（直近の届出台数）現在で報告しても良い。
- ②：装着した効果や活用（下表の赤字部分の例文か所）については、各事業所の状況に応じた内容を記載してください。なお、教育に反映していることを示す資料の添付は不要です。
- ③：全配置車両数とは、被けん引（非自走式車両＝トレーラ）を除いた営業用車両の台数です。
- ④：九州運輸局長表彰においては全ての配置車両にドラレコもしくはデジタコが装着されていなければならず、10号様式の上部計算式が必ず100%とならなければなりません。
- ⑤：装着車両の機能・性能を確認するため、メーカー名及び品名・型番まで記載する。車両が多く10号様式1枚に収まらない場合は、「別紙のとおり」とし、別表を添付しても構いませんが、表の形（左から登録番号→デジタル式運行記録計の装着→ドライブレコーダーの装着→デジタコ・ドラレコ併用装置の装着の順）で必ず作成、記載してください。

(九州運輸局長表彰用)

(第10号様式)

デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着について

当該事業所におけるデジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着については、平成〇〇年4月1日現在、以下のとおり全配置車両に対して、デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーを装着しています。

その効果については、ドライバー教育に〇〇〇や△△△の形で反映させています。

全配置車両数	〇〇台 (A)
内デジタル式運行記録計装着車両数	〇〇台 (B)
内ドライブレコーダー装着車両数	〇〇台 (C)
内デジタコ・ドラレコ併用装置装着車両数	〇〇台 (D)
$((B) + (C) + (D)) \div (A) = 100\%$	

登録番号	デジタル式 運行記録計の装着	ドライブレコーダー の装着	デジタコ・ドラレコ 併用装置の装着
福岡〇〇あ〇〇-〇〇	〇〇社製〇〇〇〇		
福岡〇〇う〇〇-〇〇		〇〇社製〇〇〇〇	
福岡〇〇く 〇〇			〇〇社製〇〇〇〇
計 〇〇台	小計 〇〇台	小計 〇〇台	小計 〇〇台

以上、報告します。

九州運輸局長 殿

平成〇〇年〇〇月〇〇日

株式会社 〇〇運送
社長 〇〇 〇〇 印

条件 9	次のいずれか		
荷主	M) 荷主からの推薦状・表彰状をもらっている	賞状等の写	いずれか
経営	N) 経営が安定的に行われていることに関する宣誓書	第 11 号様式	

M) 荷主からの推薦状・表彰状をもらっている

- ①：荷主からの表彰状・感謝状を提出する場合はチェックシート（1）及び（2）にチェック、経営が安定的に行われていることに関する宣誓書を提出する場合はチェックシート（3）及び（4）にチェックしてください。
- ②：荷主からの表彰状・感謝状は輸送の安全確保に関する内容のものでなければ×。寄付行為や社会貢献に係る内容の表彰は、対象外となるため×。また、基準日 H30.4.1 以降の表彰は×
- ③：推薦状はこれまで、資料として提出されたことがないため不明な点はあるが、イメージとしては荷主側から出してもらった文章で例えば「〇〇運送△△営業所がGマーク認定を受けて以来、輸送中の貨物事故が〇〇%減少したほか、遅延もなくなり、当社発展のためのかけがえのないパートナー企業となっており、今回の安全優良事業者表彰にふさわしい会社だと考えている」などの記載でOKと思われます。

N) 経営が安定的に行われていることに関する宣誓書

- ①：下表に記載している宣誓書の文言はあくまでも、記入例です。作成に当たっては各事業所がGマーク認定されたことにより、輸送量の増加や新規荷主の開拓など財務経営基盤の確保が行われたことについて、独自の説明を記載し、宣誓書として作成してください。
- ②：この宣誓書を裏付ける資料の添付は不要。

〇経営の安定化に関する宣誓書（第 11 号様式）

（九州運輸局長表彰用）

（第 11 号様式）

経営の安定化に関する宣誓書について

（例示－1）

弊社は、Gマーク取得後の平成〇〇年より、特定の荷主（(株)〇〇食品の〇〇を〇〇～〇〇の間を毎日運送している）を開拓できたことにより、売上に大きく貢献（平成〇〇年と比べ5%アップした。3年間の平均でも〇%の売上のアップを確保）することにより、当該〇〇事業所における平成〇〇年～平成〇〇年の〇年間の安定的な財務基盤を確保することができました。

（例示－2）

弊社は、Gマーク取得後の平成〇〇年より、Gマーク取得を評価する複数の荷主（(株)〇〇、〇〇(株)、(株)〇〇）から貨物量増加の依頼を受けたことにより、当該〇〇事業所における売上が3年間の平均〇〇%向上することができ、財務基盤の確保を図りました。

（例示－3）

弊社は、Gマーク取得後の平成〇〇年より、従来の荷主である(株)〇〇から更なる信頼を勝ち得ることができました。その結果、それまで〇〇だった貨物の量がこれを契機として倍の量を得ることができ、当該〇〇事業所における平成〇〇年から平成〇〇年の〇年間に渡り安定的な財務基盤の確保を図ることができました。

以上、報告します。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

九州運輸局長 殿

株式会社 〇〇運送
社長 〇〇 〇〇 印

条件 10 表彰	○) 行政トラック協会等から輸送の安全に関する表彰を受けている。 (Gマーク支局長表彰は対象外)	賞状等の写 第 13 号様式	必須
-------------	---	-------------------	----

- ①：他団体（行政、外部機関、トラック協会、他団体）から「輸送の安全に関する表彰」を受けており、この表彰が当該営業所を含めたものであっても、賞状の名称に当該営業所の名称の記載がない場合には、表彰の対象事業所に含まれることを宣誓するため第 13 号様式を添付してください。
- ②：表彰を受けた時期については、Gマーク認定期間なら問題ないことから、極端に言えば 10 年前のものでも問題ありません。ただし、基準日以降のものは×
- ③：輸送の安全に関する表彰が対象であるため、寄付行為や社会貢献に係る内容は対象外となります。
- ④：Gマーク表彰の運輸支局長表彰は対象外です。
- ⑤：条件 9 の M) の表彰状・感謝状で使用したのもので、内容が適合すればこの項目でも使用しても構いません。
- ⑥：事業所が表彰を受けたものが対象なので、社長や従業員が個人名で受けている表彰は対象外となります。

(九州運輸局長表彰用)

(第 13 号様式)

他団体からの表彰が当該表彰予定の事業所も含む旨の宣誓書

輸送の安全に係る別添の〇〇〇〇からの表彰状には、表彰の対象に本社事業所が記載されているが、これは本社事業所と同様に無事故・無違反を徹底した当該表彰予定の〇〇事業所を含んだものに対する評価による表彰であることを宣誓いたします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

九州運輸局長 殿

株式会社 〇〇運送

社長 〇〇 〇〇 印